/\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*/

**2023年度ジュニア向けバドミントン講習会**

**（対象：中学生）**

主催： 三鷹市バドミントン協会　共催：東京大学バドミントン部GRABA

/\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*/

三鷹市バドミントン協会では東京大学バドミントン部GRABA(グラーバ)と共催にて中学生向けのバドミントン講習会を開催いたします。

今回の講習会はバドミントンの技術の講習のみならず、お互いに考えていることを伝えあうという「コミュニケーション能力」の向上を目指しGRABAがプログラムした「コミュニケーションワーク」を前半に行い、後半バドミントンの基礎となるラケットワーク、基本ストローク等の講習を行います。

バドミントンのレベルは問いません。バドミントンに興味のある中学生は是非ご参加下さい。

１．日 時 2023年 12月24日（日） 【受付 14時～】

14時30分 ～ 18時

２．会　　場 SUBARU総合スポーツセンター　サブアリーナ

(東京都三鷹市新川6-37-1)

３．講　　師 東京大学バドミントン部GRABA／三鷹市バドミントン協会　他

４．参加対象 三鷹市在住、在学の中学生

５．内　　容 　 前半：コミュニケーションワーク

後半：ラケットワーク、基本ストローク、実践練習 など

６．参 加 費 無料

７．定　　員 先着25名（定員になり次第締め切ります）

８．申込期間 12月3日（日）～12月17日（日）

９．申し込み方法

・ メールに必要事項を記入の上、下記、申込先アドレスまでお送りください。

1. 参加者氏名、②参加者学年（中1～中3）、

③参加者バドミントン経験（未経験者・経験者）

④保護者氏名、⑤住所、⑥連絡先メールアドレス

１０．申し込み、並びに問い合わせ先

　三鷹市バドミントン協会　E-MAIL：[mitakabad@mtkbad.sakura.ne.jp](mailto:mitakabad@mtkbad.sakura.ne.jp)

＊参加可否はメール着信後、3日以内に三鷹市バドミントン協会よりメールにて回答いたします。

＊本申し込みに関する個人情報は「2023年度ジュニア向けバドミントン講習会」のみで使用いたします。

１１．その他

* 当日はバドミントンのできる服装で、ラケット・シューズは各自でご用意ください。
* シューズは、バドミントンシューズまたは、体育館で使用できるシューズでの参加をお願いします。
* その他、SUBARU総合スポーツセンターホームページを参照の上、施設利用のルールをお守りいただく様お願いいたします。

**東京大学バドミント部GRABA　とは？**

grandir (成長する)＋badminton＝GRABA

東京大学運動会バドミントン部の有志部員で、大学スポーツが地域社会に貢献できる取り組みとしてボランティア活動を行っています。

これら3つの活動理念に基づき、「コミュニケーション」や「気付き」などをテーマにしながら子供達と一緒にワークやバドミントンを行っています。

これまでの活動実施例

・テーマ：「考えたことを言ってみる」（2018年8月実施）

メインのワークでは、2 本のひもで作った傾斜をなるべく長い距離転がるようなペーパーロールを、画用紙を使って製作してもらいました。3〜4人のグループメンバーで話し合いながらアイディアを生み出すことを目的としました。それぞれのワークの後にはフィードバックの時間を設け、何を意識すればよかったかを振り返ってもらいました。

・テーマ：「夢を現実にするには」（2019年4月実施）

描いた夢を周囲に伝え、それを実現するために目標を立てて何から着手するかを一緒に考えました。アイスブレイクや体を動かすパートでも、「どうすれば上手くいくか」を考えることを意識してもらう工夫を散りばめました。

・テーマ：「見て学ぶ」(2023年1月実施)

国際時アイデア放たれたショットの再現を試みるメインのワークをはじめとして、アイスブレイクや他のワークにおいても視覚を通して得た情報を自分のものにするために考えて工夫してもらいました。

GRABAの詳細は、東京大学運動会のホームページからご覧いただけます。

<https://grabahomepage.wixsite.com/website-1>